

新設橋梁 橋脚 表面保護（塩害対策）

海上を渡る国道橋梁の建設工事において、海中に設置される橋脚の塩害による劣化が予想されたため、コンクリートの品質向上を目的としたCSI工法による表面保護が技術提案され採用された。
（施工面積：約3,000㎡）



施工箇所全景



CS-21 塗布状況



CS-21 塗布状況



湿潤散水状況

追跡調査

施工から約7年経過時点で追跡調査を行った。外観目視検査の結果、変状および不具合箇所は認められなかった。



橋梁全景・施工箇所全景（追跡調査時：施工後約7年経過）